

K KINKI SHARYO



京都市電気局納 500型電車

1924年、京都市電に初めて導入された大型の半鋼製低床ボギー車で全30両のうち当社は、501～510号まで10両の製造を担当した。1958年に中央の扉を閉鎖して座席を増やした他、ダブルポール（集電装置）のシングル化など改造を重ね、1970年まで活躍した。



竣工当時の室内。モケットには京都市電気局の局紋があしらわれている。



工場からの輸送は専用の貨車に積み込まれ、京都まで運ばれた。

主要諸元：全長13.5m 全幅2.3m 定員80名 出力30Kw×2



車内には「尼崎市田中鐵工所」の銘板も残されており貴重である。写真右上

京都市に残る当社最古の保存車両

505号車は廃車になった後もながらく交通局の保管庫で保存されていたが、2014年3月から梅小路公園に開設された「市電ひろば」で「市電カフェ」として公開されている。

車内は片側の腰掛の背ズリを外してカウンターが取り付けられる等の改装工事がなされているが、現役時代の内装に復元できるようになっている。

「市電ひろば市電カフェ」 営業時間：10：00～18：00

※2014年6月現在